

序

税務大学校和光校舎にある租税史料室は、日本の税に関する貴重な歴史的資料（租税史料）を収集・保存し、研究を行うとともに史料を公開し、租税史研究に携わる専門家のみならず、広く一般の方々にも御利用いただいております。昭和四十三年に「租税資料室」として設置されてから、すでに五十年余りの歳月が流れており、この間、全国の多くの方々の御協力により、数多くの貴重な租税史料を収集することができました。御協力いただきました皆様にこの場をお借りし心から厚く御礼申し上げます。

租税史料室が所蔵する史料につきましては、一般の研究者の方や郷土の歴史家の方、また、税の歴史に興味のある方などが利用しやすいように、当史料室の端末で「史料検索」を行えるようにしているほか、国税庁ホームページ税務大学校コーナーにもその一部を掲載しております。さらに、当史料室で所蔵する史料に記録された歴史的事実やその背景の解説を進めており、テーマを定めた上で、解説の済んだ史料の紹介と若干の解説を加えた「租税史料叢書」を定期的に刊行しております。

この度の叢書は、明治二十二年から大正十五年までの主に税務執行方針に関する史料を選択して掲載しております。これまで刊行いたしました「租税資料叢書」及び「租税史料叢書」と併せていろいろな分野で御活用いただければ幸いです。

当史料室では、これからも租税史料の適切な管理と公開に努めていく所存ですので、本叢書あるいは租税史料室に對しまして御助言と御支援を賜りますようお願い申し上げます。また、所蔵史料の一層の充実を図っていきたいと考えておりますので、租税に関する歴史的な史料の収集につきましても御支援いただけますようお願い申し上げます。

ます。

最後に、本叢書の作成に当たり、種々の御指導、御協力をいただきました関係者の皆様に、改めて厚く御礼申し上げます。

平成三十一年三月

税務大学校 税務情報センター所長 二宮 勝 司